

大災害への備え

「命を守る」を最優先に

4月に発生した熊本地震では、倒壊した住宅の下敷きや土砂崩れに巻き込まれるなどで49人の尊い命が奪われ、13万余りの住宅が被害を受けました。

地震は日本のどこでもいつても起きます。自治体は、市民の命を守るため、最善の「備え」をする責務があります。

切迫した事態 認識不明確

横浜市は、30年以内に震度6弱以上の地震の発生確率が78%で、全国の都市の中で最も高いといわれています。しかし、本市防災計

画や地震防災戦略にこの記述はなく、切迫した事態認識が明確になっていません。

目標達成でも8万戸が耐震化されず

横浜市耐震化促進計画では、2020年度までの住宅耐震化目標は95%で、あと約7万戸の耐震化が必要です。たとえそれを達成したとしても、8万戸が未耐震のまま残ります。

計画では、比較的安価で簡易に設置できる防災ベッド・耐震シェルターの設置事業を進めるとしています。市は、「人命被害を出さない」見地に立って、こ

の8万戸の住宅数に見合う規模に、この事業を拡大する必要がありま

多くの危険な崖、急斜面地

市内には、土砂災害警戒区域内の崖が約9800箇所あります。また、急斜面地に多くの住宅が建てられており、崖対策は一刻を争います。

住宅耐震化、崖地の防災対策を急げ

北谷議員は、防災ベッド等設置事業を拡大すること、地元事情に精通した区役所職員を増やすなど崖対策推進体制の強化などを求めました。

林市長は、住宅の耐震化に向けた取り組みをさらに強化する、関係区局で連携しながら総合的な崖地対策に積極的に取り組むと答えました。



急傾斜地の上にも下にも住宅が立ち並ぶ横浜市内

横浜市

今後30年
震度6弱以上の
大地震発生確率78%

防災・耐震
地震による倒壊から身を守る

設置費用の一部を補助します。

防災ベッド 本体費用について上限10万円

耐震シェルター 本体費用について上限30万円

住宅の耐震改修や建て替えよりも費用が安価で、設置の期間も短くなります。

問合せ・申請書等提出先 横浜市建築局建築防災課
〒221-0912 横浜市鶴見区鶴見中央1-1-1301
045(671)2943 045(641)2756

(横浜市のパンフレットより)

資格を持たないヘルパーで要支援 サービスの質を低下させるな

市町村が主体となって行う新しい介護予防・日常生活支援総合事業が、昨年度から始まりました。

要支援1・2の人へのヘルパーとデイサービスと同総合事業に移行し、サービス内容や価格、利用者負担を市の裁量で決めるほか、医師による要介護認定を省略し、基本チェックリストで対象者を判定できるようにします。

ヘルパーの観察力が重要

横浜市では今年10月から、ホームヘルパー資格のない人による要支援1・2の人への訪問型援助サービスがスタートします。

白井まさ子議員は議案関連質問で、ヘルパー資格のない人も掃除・洗濯・調理などはできるが、「そこには専門的な観察力の不足は否めない」と指摘。

宇佐美さやか議員は議案反対討論で、ヘルパーさんたちは今まで利用者を専門的な観察力で見守り、介護度の重度化を抑制してきたケースが多くあると述べました。

質の低下が懸念

総合事業の事業費は、75歳人口の伸び率の範囲内に納めるよう上



質問する白井議員



討論する宇佐美議員

無料法律相談 (弁護士が対応します)

- とき 毎週水曜日午後1時30分～3時 (8月はお休み)
- ところ 横浜市役所内日本共産党議員控室
- 連絡先 ☎045(671)3032
- 相談は同一案件につき3回まで。☆要予約☆

白井議員は、仮に市が利用者を緩和基準によるサービスに誘導するようなことがあれば、サービスの質の低下となると主張し、市長の認識をたどりました。

林市長は、訪問型援助サービスは利用者との相談の上で決めるもので、従事者は介護事業所による一定の研修等で必要な知識・技術等を身につけることでサービスの質は確保できる、人材不足に対応するためにも本サービスを導入して介護人材の裾野を広げる必要があると答えました。

市政へのご意見・ご要望は日本共産党横浜市会議員団へ



宇佐美さやか (神奈川区)



北谷 まり (保土ヶ谷区)



みわ智恵美 (港南区)



かわじ民夫 (旭区)



古谷やすひこ (鶴見区)



白井まさ子 (港北区)



あらき由美子 (南区)



岩崎ひろし (戸塚区)



大貫 憲夫 (青葉区)

横浜から非核・平和を発信せよ

横浜市会第2回定例会が5月17日から6月3日まで開催され、市長提出議案の38件が賛成多数で可決、請願2件が採択、3件が不採択、議員提出議案4件が全員賛成で可決されました。日本共産党議員団が行った議会での発言などを中心に報告します。

北谷議員が一般質問

オバマ大統領の広島訪問を 機に平和施策の推進を

オバマ大統領が5月27日、現職米大統領として初めて被爆地・広島を訪問しました。原爆を投下した核超大国の現職大統領が、爆心地の公園に足を運び、被爆者らを前に「核兵器なき世界を追求」と演説したことは、重要な前向き的一步です。

7831万円で運営しています。

一方、横浜市では、よこはま国際フェスタへのブース出展とピースメッセンジャー都市国際協会への会費などで、予算額はわずか27万円です（いずれも2015年度予算、神奈川県ホームページより）。

たった27万円の 平和事業予算

神奈川県内の各市の平和関連事業費は平均で209万円（川崎平和館運営費を除く）。事業内容は、平和行進への対応（全市）、平和のつどいや平和展などの開催（川崎、相模原、横須賀等16市）、広島・長崎への市民派遣（相模原、平塚、藤沢等8市）などです。川崎市は平和館を持ち、年間

議会が非核兵器平和都市宣言しているのに…

横浜市会は、1970年に平和都市宣言、1984年に非核兵器平和都市宣言を決議しています。1984年の決議では、自民党と無所属議員が反対しました。林市長は、議会で議決されたこれらの宣言に基づき、非核・平和を市として発信することが求められています。

平和事業に3つの提案



質問する北谷議員

北谷議員は5月27日の一般質問で、平和推進施策として、全国319（4月22日現在）の自治体が加入している日本非核宣言自治体協議会へ加盟すること、ポールや垂れ幕などで平和都市宣言をアピールすること、平和啓発事業や平和推進事業を積極的、多面的に展開することを提案しました。

林市長は、今後もピースメッセンジャー、平和市長会議の一員として、国際平和の実現に向けて取り組みを進めると答えるにこぎりました。



㊦秦野市の平和都市宣言の塔、㊧川崎市の「平和の詩」像

2015年度、神奈川県と県内市の 非核・平和関連施策事業費

| 自治体名 | 予算額 |
|----------|-------------|
| 神奈川県 * | 145,000円 |
| 横浜市 (注1) | 271,000円 |
| 川崎市 * | 2,130,000円 |
| 相模原市 * | 3,550,000円 |
| 横須賀市 | 188,000円 |
| 平塚市 * | 2,107,000円 |
| 鎌倉市 * | 1,320,000円 |
| 藤沢市 * | 14,261,000円 |
| 小田原市 | 2,183,000円 |
| 茅ヶ崎市 | 2,710,000円 |
| 逗子市 * | 2,306,000円 |
| 三浦市 | 1,000円 |
| 秦野市 * | 1,272,000円 |
| 厚木市 | 336,000円 |
| 大和市 * | 2,168,000円 |
| 伊勢原市 | 779,000円 |
| 海老名市 | 1,814,000円 |
| 座間市 (注2) | 0円 |
| 南足柄市 | 153,000円 |
| 綾瀬市 | 2,151,000円 |
| 市平均 | 2,089,474円 |

*：日本非核宣言自治体協議会の会員自治体
注1：国際協力推進事業費を除く
注2：座間市は市原水爆禁止協議会の寄付金で実施
(神奈川県ホームページより作成)

学校の放射能汚泥、移動検討 撤去にむけて一歩

2011年の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故で放出された放射性物質を含む汚泥が、今も横浜市内の学校や保育園に保管されています。

日本共産党は、これらの放射能汚泥を一刻も早く子どもたちの施設から運び出すよう、横浜市に求めました。

今年4月には古谷やすひこ議員とみわ智恵美議員が、畑野君枝、斉藤和子両衆院議員らとともに環境省に対して、早急に市と協議し、国の責任で学校から放射能汚泥を移動するよう、直接求めました。横浜市は5月25日、学校などに保管している放射能汚染の指定廃棄物等を、学校外で保管する検討を始めることを決めました。



▲放射能汚染汚泥が入ったドラム缶を調査する佐木ただまさ党県議(右)と古谷市議(左)
▼ドラム缶前での線量計は0.135シーベルト/h=4月6日、横浜市立末吉小学校

多種多彩

宮大工の棟梁 だった父親を手伝った私は、木造建築に強い愛着がある。地震大国日本に対応できる安全・快適な「家」、つまり非常時にはシェルターの役割を持つ住宅は、伝統的な木造軸組工法で出来ると信じている▼「段取りが悪い！」いつも厳しく言われた言葉である。仕事の善し悪しは段取りで決まる。議員の仕事の「段取り」は調査にあると、胆に銘じている。そのため、担当職員に面倒をかけていることはご容赦願いたい▼堂塔の「木組みは木の癖組み」「木組みは人の心組み」法隆寺の鬼と言われた故西岡常一棟梁の口伝である。木はそれぞれ癖がある。世界最古の木造建築物である法隆寺堂塔は、木の癖を組み合わせることで千二百年超えて健在である▼数千の部材一つ一つの癖を見抜き、組み上げる仕事は、個性の強い多くの工人の心を束ねられてこそできる。この口伝は、私たちの日頃の活動に通じる大切な教えと、心に刻んでいたい。(ひろし)



奈良・法隆寺の金堂と五重塔